

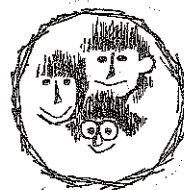
性教育講演会「対等な関係をつくろう ～デートDVを防止するために」

ウィメンズネット・こうべ

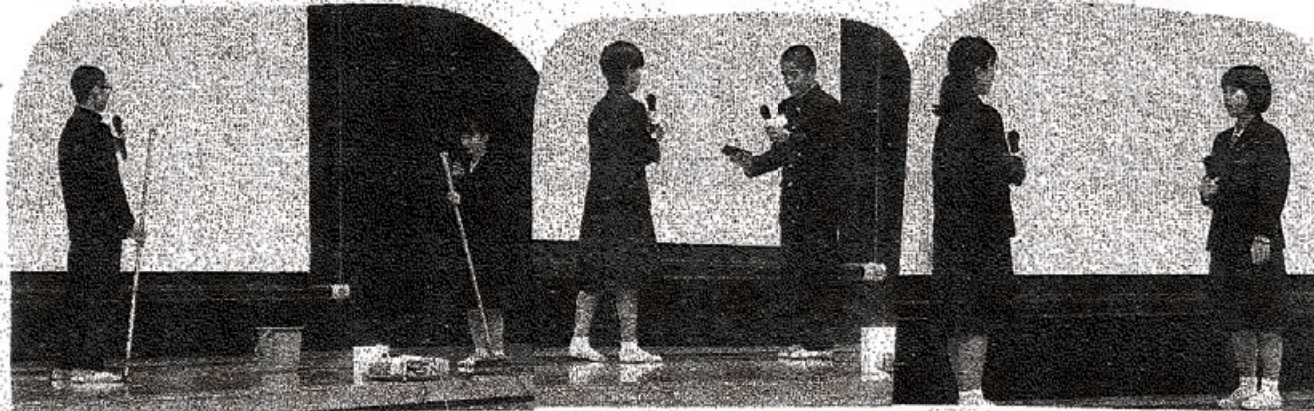
DVは「相手を暴力で支配する＝思うようにする」ことです。

対等な関係をつくるには～自分を尊重し、同時に相手も尊重すること

- ・意見や感じ方の違いを認める。
- ・自分の気持ちを言葉で伝える。怒りを暴力でなく言葉で伝える。
- ・自分が嫌なことはNOという。(自己決定)
- ・相手のNOを受け入れる。
- ・男らしさ、女らしさにこだわらないで、それぞれの自分らしさを大事にする



仲間の寸劇から学ぶ(いろいろなパターンのカップルが登場しましたね)



2組

好きな人だからと言って束縛をしたりしたら、相手にもすごく嫌な気持ちになると、今日の劇をして思ったので、自分は絶対にしないようにするのと、もし自分がその立場になったら、家族などの人に相談できるようにしていきたいです。自分の友達でそのような立場になっている人がいたら、相談に乗ってあげたり、守ってあげられるようになりたいです。自分が思っていることだけがDVの内容ではなかったなので、今日もらったプリントをしっかりと読んで正しい判断などをできるようにしたいです。

1組

今日の講演会で印象に残ったことは、どちらか一人がいやな気持ちになれば暴力になるということです。男の人の方が束縛する気持ちになりやすいのは、男はリードしてかっこいいところを見せつけたいと思うことが強くなりすぎて、支配してしまうというパターンで多いそうなので、自分も男なので、かっこいいところを見せつけるのではなく、自分の個性を出して付き合いたいと思いました。自分がしていることが相手の心と体を傷つけてしまっていた場合は、その人が自分だと思うように対処したいです。友達の劇では、いろんな場合のイメージが付きやすかったし、「自分にはこんな起こらないから関係ない」という考えがすっかり消えて、人ごとではないんだなと思いました。今日は、自分の思っているようにしようと思わないことが大切なのだとわかりました。ありがとうございました。

1組

デートDVをする人は、相手が傷ついているのを気がつかない人だと思いました。女だから言うことを聞くのは、あたり前だと思っていると思う。友達が相手とうまくいっていなかったら、相談にのってあげようと思います。手を出さなくても、言葉や行動で相手を傷つけていると改めて感じました。自分が傷ついても、一人で悩まずに、家族や友達に相談しようと思いました。女だから、言うことを聞くのではなく、嫌だったら嫌とはっきり言おうと思います。相手の気持ちを考えて行動することが大切だと思いました。これからの生活で他人を傷つけないように心がけ、思いやりの心をもって生活していこうと思いました。

4組

今日の講演を聞いて、DVはしてはいけないことだということが分かった。お互いに対等な関係をつくるためには、お互いを尊重し合い、支え合うことが必要だということが分かった。そして、自分とは意見や考え方が違う人でも、お互いを認め合うことが大切だと思った。自分に彼女ができて、DVのように、彼女を自分のモノのようにあつかわずに、大切にしたいなと思いました。そうすることによって、相手も自分もいきいきとした対等な関係でいられると思います。このように、今日の講演会は、とてもためになるお話を教えていただいて、とてもうれしかったです。ありがとうございました。